

小畑 地区



人口	939 人		年少人口／割合 (0～14 歳)	81 人 8.63%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	213 人 22.68%
	世帯数		447 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	485 人 51.65%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比 35 人 3.73%
性別人口	男性	425 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	373 人	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	59 人
	女性	514 人		39.72%		6.28%

平成 29 年 9 月末現在

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

地域の紹介

病院、スーパー、コンビニなどが近くにあり、生活の利便性が高い。また、文化(野上八幡神社など)、自然にも恵まれている。地域住民の人柄もよく、昔ながらの近所付き合いも残っている。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちでできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
つながり、交流	○気軽に集まる場所がない	✓一人ぐらしの人を気にかける ○気軽に声をかける ○心を広げる ○少し遠くても歩いていけるよう足を鍛える ○現在参加している場所に継続的に参加する ○広場や公園でも集まる	○サロン、老人クラブ等を広げる ○男性が集まる機会を増やす ○ふれあい広場を自分たちでつくる ○自分たちのサロンをつくる		
	○サロンの参加が少ない ・世代間の交流がない ・集まる場所がない 「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています	✓活動の予定等について声掛けをする(情報提供) ○男性の積極的な参加 「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています	✓チラシづくり ✓区長を通じてチラシを配布する ✓場所を確保する ✓サロンに必要なもの(おわん、皿など)を協力して持ち寄る ○少人数でも集まり、会を開く ○参加できない人の家を訪問する ○集まる場所を他にもつくる ○集会所を長く使えるようにする	○チラシ作成の補助(費用面等) ○サロンへの送迎(自分たちで送迎したいが事故のことを考えるとなかなかできない)	○人柄がよい ○近所付き合いが良い
高齢者が多い	○買い物が大変	✓ご近所への声かけ ✓日頃から周りを気にかける ✓人の集まりに参加する ○サロンに積極的に参加してみる ○健康を保つ努力を日頃から行う	○友人を誘ってサロンに参加する ○近隣住民と乗り合わせてサロンに参加する	○冬の時期、ごみの収集時間が早い ○国道に街灯が少なく暗い	○監視されているという意識はない ○近所づきあいが大変良好 ○病院が近い ○買い物に便利
	○ひとり暮らしが多い	✓高齢者の交流への参加 ✓高齢者の見守り ○お互いの声かけ ○サロン、老人クラブへの参加 ○高齢者の集まる場所、機会をつくる	○健康体操の実施 ○サロン、老人クラブへの参加呼びかけ ○老人施設への訪問 ○子ども、若者への呼びかけ	✓健康体操等の講習会の開催 ○情報提供	○近所付き合いが良好 ○集まるところが多い ○老人クラブへの参加が楽しい

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆お互い声をかけ合おう！！
☆近所付き合いを継続し、サロンの参加を増やしていく
☆健康でみんな仲よく幸せに暮らせるように。
☆高齢者がこの地域でいつまでも健康で楽しく暮らせるために地域福祉に積極的に参加する！！



動木・平・希望ヶ丘・緑ヶ丘・かしこ池
 地区



スポーツ公園

人口	1,730 人	年少人口／割合 (0～14 歳)	147 人 8.50%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	341 人 19.71%
世帯数	768 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	866 人 50.06%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	79 人 4.57%
性別人口	男性 802 人 女性 928 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	717 人 41.45%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	75 人 4.34%

平成 29 年 9 月末現在

地域紹介
 住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

町役場や病院、郵便局、コンビニ等があり、利便性が高い。こども園、学校もあり、地域との交流もさかん。また、サロン活動や公民館のサークル活動に熱心に取り組む住民が多く、近所付き合いも良好。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちのできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
移動、交通	○通院、買い物(梨木峠で出掛けにくい)	✓車を乗り合わせて買い物に行く ○隣同士気にかける ○サークル活動等に参加し、日ごろから交流をもつ ○梨木峠を行き来できるよう足を鍛える	○お互いに声をかけ合う ○いろんな行事に参加する ○あいさつをする	○ふれあいバスの運行方法 ○交通アクセスの改善	○地域がコンパクトにまとまっている ○気軽に散歩するところがある
高齢化	○ひとり暮らしの高齢者が多い ・交通の便 ・買い物	✓運動、トレーニング ○サロンへの参加 ○生協やスーパーの宅配を利用する ○家事への協力 ○健康体操等への参加	✓サークルへの声かけ ✓御用聞きをして買い物のサポートをする ○身の回りのこと、送迎等のサポート ○男性の参加呼びかけ ○犯罪(詐欺等)に対する注意喚起 ○憩いのカフェをつくる	○サロン、買い物の送迎 ○ふれあいバス運行ルートの拡充 ○地域リーダーの養成	○隣人愛がある

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
 ☆将来に向かって安心した生活がおくれるように
 ☆体力づくりに努めて近隣との助け合い



下佐々・吉見・海南鋼管・吉野 地区



人口	2,083 人	年少人口／割合 (0～14 歳)	169 人 8.11%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	471 人 22.61%
	世帯数 930 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	1,023 人 49.11%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	95 人 4.56%
性別人口	男性 978 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	891 人	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	104 人
	女性 1,105 人		42.77%		4.99%

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

町内でもっとも人口が多い。貴志川沿いにあり、背後に山を背負う旧国道の地域。あたご講、花見など、住民が集まる行事も多く、近所付き合い、交流も活発。児童館、集会所、消防署などの施設に加え、地域住民の交流拠点であるふれあい広場紀美野がある。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちのできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
地域活動	○班活動が減ってきている ○情報が入りにくくなった (個人情報保護とも関連して)	✔ふれあい広場紀美野への参加 ✔おかずのおすそ分けをする ○回覧板を次に回す手伝い(高齢者宅) ○お互いに声かけをする	○冠婚葬祭の連絡を班内で共有する ○班単位でのサロン活動 ○運動会、遠足、花見の実施 ○助け合い ○回覧板を早く回す(マニュアル化)	○回覧板を回す戸数が多いので、2部出してほしい	○近所が近い ○道がわりと平坦
高齢化	○買い物が不便 ・空き家、ひとり暮らしの増加 ・足腰が悪くなってくる ・外出機会が減っている	○野菜作り ○健康維持 ○インターネットの活用 ○家族や友人に頼む ○生協の活用	○助け合いができる仲間づくり ○ひとり暮らし高齢者の見守り ○健康体操の実施 ○みそ、こんにやくづくり ○地元の商店で買い物をする	○買い物バス ○ふれあいバスの停留所を増やす ○地元の商店も頑張る	○近所づきあいが良好 ○歩く環境が整備された ○耕作地がある、貸してくれる人がいる ○みそ、こんにやくづくりを伝承してくれる人がいる
	○買い物をすべ店がない ○交通アクセスの悪さ ○避難時の交通手段 ○高齢者のひとり暮らし ○老後の生活の不安	✔生協の活用 ○スマートフォンで注文する ○買い物に行くときに隣近所に声をかけ、誘う ○自分から心を広げる ○自分で運動して健康でいる ○隣近所を大切にし、日ごろからあいさつする		✔地域サロンの活性化 ○近所の人に声かけ運動 ○ひとり暮らしの人への声かけ、見守り ○趣味を通じた交流の機会を増やす	○年金で入れる施設がほしい
移動・交通	○買い物 ○病院	✔生協の活用 ✔自家用車の運転 ✔子どもに頼む ✔移動販売で買う ○我慢して買い物の回数を減らす	○乗り合いタクシー ○移動販売の充実 ○インターネットの活用、操作の協力 ○代行業の活用	○買い物ツアー ○スーパーのサテライト営業所の設置 ○自動運転の車 ○ドローンの活用(買い物支援)	○高齢者同士が毎日集まっている

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆足腰きたえて健康で！皆仲良く助け合う！
☆仲間作り・健康作りで自給自足！！
☆災害時の協力体制づくり
☆若者との交流



柴目・長谷 地区



人口	531 人	年少人口／割合 (0～14 歳)	37 人 6.97%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	128 人 24.11%
世帯数	231 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	265 人 49.91%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	12 人 2.26%
性別人口	男性 239 人 女性 292 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	229 人 43.13%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	14 人 2.64%

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

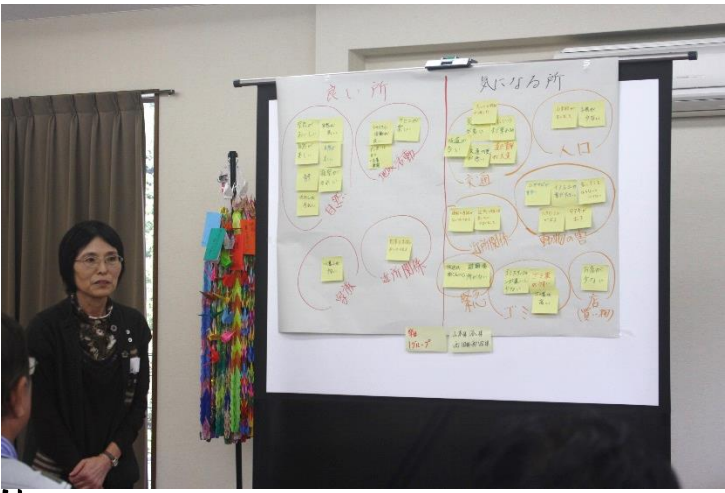
自然豊かで、とくに夏のホタルは美しい。交通の便が改善されている場所もあるが、坂道が多いことも地域の特徴。サロンをはじめとする地域活動も活発で、近所で助け合える文化が残っている。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分でできること	自分たちでできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○地域活動への参加ができなくなる ○祭事の運営ができない ○買い物ができない ○耕作放棄地が多い ○若者が少ない	○一斉清掃に参加する ○健康維持 ○健康診断を受ける ○祭事の運営に参加 ○道路を整備して若い人に住んでもらう	○区会を中心に活動する	○道路の管理援助	○近所付き合いがよい
	○買い物難民 ○通院に困る ○運転免許の返納	✓生協等の活用 ○健康維持 ○自分で買い物に行く ○家族に頼む ○スーパーでネット注文をする ○買い物に行けるよう足を鍛える	✓グループで月一回外出する ○サロンで健康体操を続ける ○ボランティア組織の育成 ○男性の料理教室をつくる	○買い物バスを作してほしい ○移動販売を充実	○今はひとり暮らしが少ない
地域活動	○サロン活動 ○趣味の活動 ○高齢化	✓声かけ ✓活動への積極的な参加 ✓健康管理体操 ✓感謝の心をもつ	✓近所との交流、助け合い ✓友だちをつくる ✓情報交換	○サロン等に講師を呼ぶ ○地元の若者への補助	○人情がある

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分でできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆みんなで仲良く、健康で協力していこう！！
☆健康を維持する
☆健康第一
☆若い人の力



小川 地区



人口	656 人	年少人口／割合 (0～14 歳)	51 人 7.77%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	172 人 26.22%
世帯数	330 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	320 人 48.78%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	43 人 6.55%
性別人口	男性 313 人 女性 343 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	285 人 43.45%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	51 人 7.77%

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

農業を中心とした緑豊かで人情味にあふれた地域。公民館活動、サロン活動、また伝統行事にも積極的に取り組まれており、近所付き合いも良好。小学校、郵便局、販売所などがある。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちのできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化・過疎化	○車に乗れない人の交通不便 ○買い物が不便 ○ひとり暮らし高齢者の増加 ・耕作放棄地、空き家の増加 ・地区の世話人がいない	✓見守り ✓色んな会に参加する ✓億劫がらずに外に出て交流する	✓出かけるとき、隣近所に声をかけをして一緒に乗っていく(買い物、地域の集まり) ○買い物の情報提供	○集会所を一日開放し、みんなが集えるようにする	
買い物	○移動について	✓共同購入の利用 ✓日頃からのつきあい ○買い物の手伝い ○健康でいる	○買い物の御用聞きグループ ○隣組の助け合い ○楽しみと生きがいをつくる	○車に乗らなくなった人のためのサービス	○日ごろからの付き合いがよい
担い手	○若者が少ない 「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています	○後継者の指導 「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています	○若者たちのサークルづくり ○若者に来てもらう ○魅力的なまちづくり	○子育て支援	

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆高齢者宅を訪問し、注文を取り、食糧品を届ける
☆80歳になっても元気に地域のためにがんばる



志賀野 地区



人口	425 人		年少人口／割合 (0～14 歳)	16 人 3.76%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	117 人 27.53%
	世帯数		生産年齢人口／割合 (15～64歳)	218 人 51.29%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	23 人 5.41%
性別人口	男性	204 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	191 人	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	26 人
	女性	221 人		44.94%		6.12%

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

傾斜地で、標高 150～250m くらいに住宅と果樹(みかん、柿、梅、山椒など)の農地が点在している。5 地区にまたがり、各地においてまとまりが良く、熱心に地域活動に取り組む住民が多い。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちのできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○買い物、病院が遠いが免許や車を持っていない人が多い ○交通手段がない ○日中独居で買い物に出かけられない	✓子どもに送り迎えをしてもらう ✓近所の人に車に乗せてもらう ○買い物のサポートを行う ○健康づくり ○家にとじこもらず、外出する ○日ごろから交流の場に出かける ○人に嫌われないようにする	✓声かけをする ○日ごろから互いを気にかける ○近所の若い人に協力してもらう ○若い世代にきらわれない	○1 人では買い物は無理 ○移動スーパーの稼働	
	○健康	✓いきいき体操などに参加する ✓身体を鍛える ✓サロン活動に参加する ✓パークゴルフに来る ✓カラオケをする ✓散歩をする ✓おしゃべりをする ○体操を続ける(テレビ体操など) ○家にとじこもらない ○近所付き合いを見直す ○頭の体操	○体操に友達を連れてくる	○体操に関する DVD 等を貸し出して欲しい ○活動に対する助成金が必要	○声をかければ集まりがよい ○地域のために協力しようという気持ちが強い
	○担い手をつくる	○参加への声かけ ○若い世代の交流に対する指導・助言 ○リーダーになる			

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですすでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆過疎地域脱却の為、働く場所の確保。次世代の人も住める街づくりのための声かけ運動
☆近所付き合いで毎日元気！！



下神野 地区



人口	1,241 人	年少人口／割合 (0～14 歳)	85 人 6.85%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	318 人 25.62%
世帯数	600 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	652 人 52.54%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	66 人 5.32%
性別人口	男性 578 人 女性 663 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	504 人 40.61%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	84 人 6.77%

平成 29 年 9 月末現在

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

地域の紹介

町役場の支所があり、文化センター、レストランなどにもアクセスしやすい。十三神社、箕六弁財天、愛宕神社など、歴史・文化にも恵まれている。住民の人柄のよさ、近所付き合いのよさも地域の特徴。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちのできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○ひとり暮らしが多い ○買い物、移動の手段	✓おかずのおすそ分けをする ✓あいさつをする ✓一声かける ○電動や三輪の自転車を使う	✓近所で助け合いながら畑を耕す ✓「お礼は気にせんといて」と声をかける ○みまわりをする	○自宅までの送迎がほしい ○買い物ツアーがほしい ○ふれあいバスの利便性向上	○もちつもたれつで助け合う ○地域ぐるみで仲良し
	○空き家が多い ○買い物が不便 ○交通の便が悪い	○健康管理 ○野菜づくり ○生きがい ○外出する ○楽しみをもつ	✓サロンへの参加 ○人と関わりをもつ ○助け合う ○情報発信	○出張販売 ○買い物に連れて行ってほしい	○行事等で集まる機会がある
	○買い物 ○通院、受診	✓連絡を取り、買い物の御用聞きをする	✓買い物をできる人が当番制で支援 ✓仲間同士で連絡しあう ✓生協で購入	○買い物代行業の立ち上げ ○町営の移動販売	○近所付き合いができています
	○少子化	○自分の子どもに声をかけ、地域に戻ってきてもらう		○小、中、保育所の充実 ○住宅の確保 ○雇用を増加させる	

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

- 5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
- ☆みまわりやひと声かける、お互い助け合う仲良し地域でくらす
 - ☆健康を保つためにサロンの活用
 - ☆健康を保つ
 - ☆認知症予防に努める
 - ☆他者との交流を保つ(地域サロンの活発化)



上神野 地区



上神野小学校

人口	549 人		年少人口／割合 (0～14 歳)	40 人 7.29%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	157 人 28.60%
	269 世帯		生産年齢人口／割合 (15～64歳)	247 人 44.99%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	42 人 7.65%
性別人口	男性	247 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	262 人 47.72%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	44 人 8.01%
	女性	302 人				

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

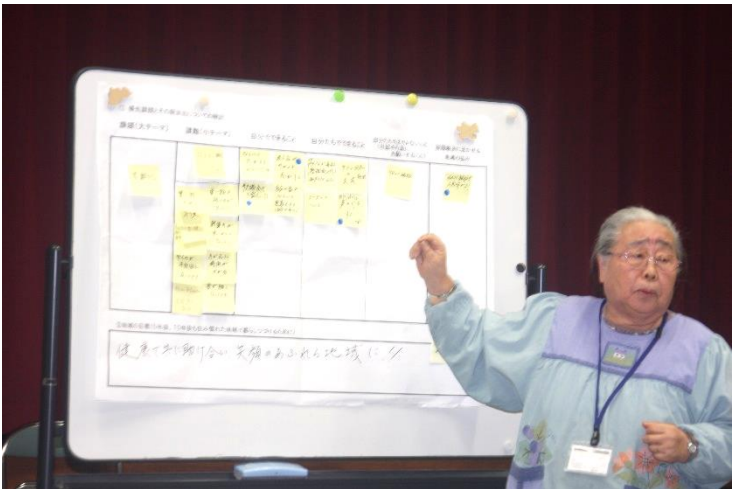
国道沿いと山間部に住居が点在している。自然環境がよく、柿、山椒などを栽培している家庭が多い。また、住民が助け合いながら寺社の管理や地区の行事を行うなど、近所付き合いは良好。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちのできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○話をする機会がない ・買い物、病院などが不便 ・身体機能の低下による生活の不便が増えてきた	✓井戸端会議を盛んにする ✓老人会やサロンに参加する ○なるべく外出し、社会とかわかる ○自分の家でなるべく運動をする	✓隣近所に声をかけをする ○孤立しないようにみんなが集まる雰囲気をつくる ○リーダーをつくる ○サロン同士の交流	○サロンへの補助	○みんな親切で人間味がよい
	○買い物、通院に困る ○人づきあいができない ○気軽に車に乗りにくくなった	✓元気であること ○体操をして健康でいられるようにする	○できる範囲で乗せ合い	○バスに乗れない人のための解決策 ○タクシー券を発行してほしい	○毎日畑に出ている ○家に閉じこもってられない ○毎月班で集まる
交通 高齢者が多い	○病院にいくときの手段 ○買い物をするとこが遠い ○車に乗せにくくなった	○買ってほしいもののリストを作る ○買い物リストで代わりに買い物する ○子どもにも頼む	✓みんなで乗り合わせて買い物に行く ○班の人が各家庭のほしいものをまとめる	○タクシー券の交付 ○移動スーパー(班ごと)がほしい	○近所の仲がいい

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですすでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆健康でともに助け合い、笑顔のあふれる地域に！
☆健康を保つ
☆公助が必要
☆お互いに仲良く団結力でがんばる



国吉 地区



人口	193 人		年少人口／割合 (0～14 歳)	3 人 1.55%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	94 人 48.70%
	127 世帯		生産年齢人口／割合 (15～64歳)	59 人 30.57%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	37 人 19.17%
性別人口	男性 86 人 女性 107 人	老年人口／割合 (65 歳以上)		131 人 67.88%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	34 人 17.62%

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

国道から山間にまで広がる土地で、山椒や柿がよく収穫できる。みさと天文台があり、町内でも星のきれいな地域。住民意識については、昔から共助共存の意識が強く、助け合いの精神が強い。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分でできること	自分たちでできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○健康なときと異なり、一人前にできない	✓ボチボチしたらできる ○サロンに参加する ○体操に参加する	✓1 日見かけなかったら声かけ ✓サロンのときは誘い合わせて参加する		
	○買い物ができない ○買い物が偏り生鮮食品が食べられない	✓薬を代わりにもらいに行く ○野菜なら作れる ○家族に頼む ○生協、移動販売に頼む	✓畑のことを人生の先輩に聞く	○週に一回でも買い物ツアーがほしい ○運転をヘルパーさんにお願いしたい ○公共のものなら遠慮せず利用できる	○車への相乗りなど協力しあえる
	○買い物、交通の便 ○ひとり暮らしが多い ・仕事場がなく若い人が離れる ・担い手が少ない	○近所の人をお願いする ○生協の利用	✓サロンへの参加 ✓いきいき体操への参加 ✓声かけ、見守り ✓お互いの助け合い	○バスの本数を増やしてほしい ○バス停にイスがほしい ○街灯が少ない ○内職のような仕事がほしい	○近所の仲が良く、まとまりやすい
移動・交通	○道路の整備(枯葉、雪、石、鳥獣害など)	✓道路の掃除	✓隣近所で協力して道の掃除	○道が狭く不便	
	○外出、買い物	✓近所の人を乗せて買い物をする	✓近所の人に乘せてもらう ✓家族に手伝ってもらう	○バスを予約して利用できたらよい	
過疎化	○会話をする相手がいない ○ひとり暮らしが多い ○サロンに参加したくても行けない	✓サロンに誘われたら断らずに行く ✓ラジオ体操を毎日する ○健康を維持していく ○膝の体操を毎日する	○サロンへの参加の呼びかけ	○字の役員が大変 ○若者が少ない ○会社を誘致する	

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分でできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標

- ☆現状維持で健康でいたい
- ☆健康第一、今までどおりにすごす
- ☆個人で健康維持を図っていく
- ☆連帯感、つながりを大切にする



長谷毛原 地区



人口	508 人	年少人口／割合 (0～14 歳)	26 人 5.12%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	204 人 40.16%
世帯数	278 世帯	生産年齢人口／割合 (15～64歳)	207 人 40.75%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	57 人 11.22%
性別人口	男性 231 人 女性 277 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	275 人 54.13%	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	76 人 14.96%

平成 29 年 9 月末現在

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

地域の紹介

紀美野町の一番奥、かつらぎ町に隣接した地域。元気長谷毛原会やサロンなど、住民の主体的な活動が活発で、見守り、声かけなどによる生活支援もみられる。野菜などを栽培している家庭も多い。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分でできること	自分たちでできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○高齢者のひとり暮らしが多い ○サロンだけでは交流の場が不足している ○ひとり暮らしの人の緊急時、家族への連絡先がわからない ○災害時の不安 ・仕事がない ・車がないと生活できない ・買い物が不便 ・交流の場に出かける交通手段に困る	○安否確認 ○自分が留守にするときは隣人に声かけ ○健康づくりでいつまでも元気にいる ○隣人に声かけをして交流の場にでかける ○いつまでもトイレにしっかり行けるように ○億劫がらずに人の集まりに参加する	✓老人クラブ ✓サロンの運営 ✓三味線 ✓カラオケ ○菜園づくり ○各サークルの連携		
	○移動・交通 ・生活の楽しみ	✓自分でどこにでも行く ✓買い物に車で連れて行ってもらう	✓友人に頼む ○買い物に行くとき、友だちを誘って行く	○ふれあいバスの利便性向上 ○スクールバスを利用したい	
	○移動、買い物 ○耕作放棄地 ○ひとり暮らしの不安・不便 ○空き家の増加	✓健康でいる ✓百歳体操をする ✓一日一回坂道を歩く ✓つねに運動をすること ✓自分で買い物をする(移動販売も利用)	✓サロン、老人会等の充実 ✓気の合ったグループで飲み会を楽しむ ✓天気であれば毎日午後、有志でゲートゴルフを楽しむ ○畑の貸し出し	○移動販売	○個人の生活や考え方を大切にしている ○近所づきあいが大変良好 ○診療所が近い

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分でできること」のうち、「✓」は、地域ですでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆いつまでも健康で、より一層地域の交流を深めよう！
☆自家用車をタクシーとして使えるように法整備を進める
☆元気である



真国 地区



人口	337 人		年少人口／割合 (0～14 歳)	17 人 5.04%	後期高齢者人口／割合 (75 歳以上)	133 人 39.47%
	180 世帯		生産年齢人口／割合 (15～64歳)	129 人 38.28%	独居高齢者人口／割合 ※高齢者人口比	34 人 10.09%
性別人口	男性	149 人	老年人口／割合 (65 歳以上)	191 人	避難行動要支援者人口／割合 ※要支援者人口比	38 人
	女性	188 人		56.68%		11.28%

平成 29 年 9 月末現在

地域の紹介

住民懇談会にご参加いただいた皆様が考える「地域の特徴」をもとに、地域の紹介文を作成しました

紀美野町の北部に位置し、真国川沿いに集落が点在している。紀の川市へのアクセスがよい。自然環境がよく、主に柿、山椒などを栽培している。伝統行事が継承されており、住民同士の結束がある。

地域の最優先課題	具体的な生活上の問題	自分のできること	自分たちでできること	自分たちではできないこと	課題解決のために有効な地域の強み
高齢化	○伝統行事の継続 ○道管理、草刈りが大変 ○耕作放棄地	✓外に出ている方に声かけ ○地区を守る意識改革 ○個人でシルバー人材へ頼む	○お互いの協力 ○移住者の受け入れ	○地区、字の見直し ○交通の便	○少人数のため、話がまとまりやすい
	○伝統行事の継続が難しい	○家族を地域に呼ぶ ○楽しみを持つ ○生きがいづくり	✓サロンへの積極的な参加 ○若者たちとつながりをもつ ○助け合う	○困りごとについて、役場に働きかける ○情報発信をしてもらう ○年金を増やしてほしい	
	○行事への参加者が少ない	○若い人に声かけをする ○自分の子どもたちに声かけをする ○地区の集会に参加してもらうように呼びかけ	✓土日に行事をする ○昼間に集会を行う ○各地区への理解を得る	○広報活動をしてほしい	○人間関係、近所付き合いがよい ○人情のよさ

「具体的な生活上の問題」のうち、「○」は、今回の懇談会で議論したもの、「・」は議論できなかったものを示しています

「自分のできること」のうち、「✓」は、地域ですすでに取り組まれている活動、「○」はこれから地域で取り組むべき活動を示しています

5年後、10年後も住み慣れた地域で暮らしつづけるための目標
☆自然がいため、地域のよさをできるだけ PR し、移住者を受け入れる
☆健康を維持し、認知症予防に努める
☆応分のお金を得られる産品づくりで生きがいづくり

